

【公表】事業所における自己評価総括表

事業所名	児童ルームたちキッズ鳥栖中央			
保護者評価実施期間	令和6年9月1日～令和6年9月30日			
保護者評価有効回答数	対象者数	39名	回答者数	38名
従業者評価実施期間	令和6年9月1日～令和6年9月30日			
従業者評価有効回答数	対象者数	7名	回答者数	7名
総括表作成日	令和6年11月1日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・拡充を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に 行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・経験豊富な専門職種が多数、従事している。	・利用者の状況に応じて各専門分野の職員（保育士、児童指導員、言語聴覚士、作業療法士等）が率先してリードを行えている。	・支援の向上を図るために研修等へ積極的に参加し、更なる専門性の向上へも繋げていく。
2	・多様なプログラムの実施。個別、集団、小集団での活動。	・学校通常日においては小集団にてカリキュラム化した視覚、聴覚のトレーニングに加え運動療育を行い、学校休業日においては上記に加え生活力を高めるための調理活動や社会科見学、制作活動等の様々なイベントを行っている。	・集団での療育やイベントにおいて、利用者個人個人のレベルに応じた課題設定を行うことで楽しみながら取り組めていける活動内容を今後も熟慮し計画実践していく。
3	・PCDAサイクルが実施され、情報共有が出来ている。	・朝礼やミーティング、申し送りノート、企画書を活用し、イベント活動や集団療育等への振り返りを行い、改善に繋がるよう実施している。	・情報共有した内容の精度を高めるために、箇条書き程度の申し送りノートのみならず、朝礼時等に更なる詳細を伝達していきけるよう取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組みや 工夫が必要な点等
1	・療育実施場面の様子を保護者様に見て頂ける機会が少ない。	・保護者様が送迎をされているご家庭は、様子を見て頂きやすいが、そうでないご家庭は、難しい現状にある。	・保護者様が、気軽に見学していただけるよう、アナウンスや環境作りが必要。
2	・地域交流の機会が不十分である事。	・情報量の少なさや地域イベント等の日時（土曜の夕方、日曜等）がサービス提供時間や開所日と合わないケースが多いため。	・地域交流の機会となるイベント等の情報収集を積極的に行っていく。
3	・保護者交流の場の少なさ。	・保護者交流会を実施しているが、年に1回の開催であるため、ご都合がつかず参加困難なご家庭がある。	・規模を縮小したうえで、保護者様のご都合がつかやすいよう、保護者交流会開催回数を年3回等で検討を行い、交流の機会を増やせるようにしていく。